

広報

# あかいけ

## 閉町記念 最終号



さようなら。

「さようなら」の意味は「左様なら」。  
つまり「そうならねばならぬのなら」。  
別れたくはない、しかたがない  
という気持ちが込められています。  
他国にはないニュアンスをもつこの言葉は  
世界で一番美しい別れの言葉だと言われています。  
この町に、いま、感謝の気持ちを込めて…

# わが町よ。

ここに 町が生まれた。

昭和14年11月 赤池町は誕生した。

黒いダイヤに燃える 熱き町だった。

華やかな炭都の一角として 人が集い 働き 暮らした。

真っ黒になった顔から白い歯をのぞかせた あの日の父のように

町は潤い 満たされていた。

やがて 熱は消えた。

ヤマを失い 人が去り 笑い声が遠のく。

天をつくボタ山 三本の煙突 商店街 列車 炭のにおい

みんなこの町からなくなった。

声にならないくらいに泣きじゃくった 幼い日の夕暮れのように

町も沈んだ。

しかし 立ち上がった。

町が倒れても 物が消えても 心の輝きは失わなかった。

貧しくても 辛くても もの言わず台所に立っていた 母の背中のように

優しさで強さを 決して忘れはしなかった。

童謡の町 財政再建 やきものの里 長寿の町 育みの町

町は生まれ変わった。

聞こえているだろうか。

励まし 癒し 見守り続ける福智の声が。

感じているだろうか。

人々を育み 見守り続けるこの町の風土を。

憶えているだろうか。

この町で生きていこうと決めた あの日の空を。

わたしたちは確かに一つだった。

この町で一つだった。

赤池という町の 物語の中で。

